

新事業開発による伝統産業の活性化事業

一経営学を学ぶ学生と企業が連携し、堺市の伝統産業の経営資源を活用した新事業開発を考えることにより、経営学の学習を進めるとともに、伝統産業の活性化を目指すー

主な連携先・メンバー

堺市産業振興局商工労働部ものづくり支援課 竹中正弘氏/
株式会社和泉利器製作所 信田圭造氏

活動地域

堺市

活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動期間

2020年度～継続中



#伝統産業 #新事業開発 #ビジネスアイデア・コンテスト

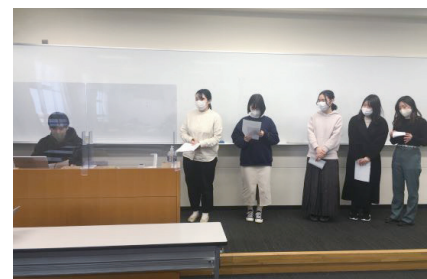
連携にいたる経緯

本学社会学部の上野ゼミでは、経営学を学びながら地域の課題解決に取り組んできた。より実践的な学びの場を提供するために、地域連携協定を結んでいる堺市に対して、「新事業開発による伝統産業の活性化事業」を提案し了承され、堺市の企業の協力を得た。



活動内容

2020年度は上野ゼミの学生により、堺の伝統産業(刃物産業2社、線香産業1社、注染業界2社)に対する訪問による聞き取り調査を行った。また兵庫県線香協同組合に対するZoomによるインタビュー調査も行い、地域間比較により堺の伝統産業の実態を明らかにしてきた。その成果を発表するために、2021年2月27日に本学堺キャンパスにおいて、『新事業開発による伝統産業の活性化事業』報告講演会をオンラインの形式により開催した。講演会では学生の調査研究と共に、堺打刃物の老舗企業経営者による講演会と、伝統産業研究の第一人者である上智大学教授(現大妻女子大学教授)の山田幸三先生にご講演をいただき、インターネットにより堺市民に向けてライブ配信を行った。講演会の内容については資料集も作成した。2020年度の研究成果を踏まえ、2021年度には企業と連携してビジネスアイデア・コンテストを開催し、関西大学(上野ゼミ)、大阪市立大学(吉村ゼミ)、大阪府立大学(今井ゼミ)の3大学の学生が、新事業開発のアイデアを発表した。



活動の成果

- ▶『新事業開発による伝統産業の活性化事業』報告講演会」の開催
- ▶報告講演会の資料集作成
- ▶伝統産業についての理解を深めた

今後の課題・目標

- ▶ビジネスアイデア・コンテストを通して新事業の実現に向けて企業と連携する
- ▶伝統産業のさらなる活性化に向けてあらたなイベントを検討する
- ▶学生の学習を深めるために、企業との連携を強化する

連携先からのひとこと

今回の事業を通じて、学生の皆さんが堺市の伝統産業に関心を持つとともに、伝統産業界に新しい風が吹き込むような、学生ならではの有意義なビジネスアイデアが出てくることを期待しています。

(堺市産業振興局 商工労働部 ものづくり支援課)

社会学部 教授 上野 恭裕 Ueno Yasuhiro



経営学が専門で、伝統産業やファミリービジネスの経営戦略を主に研究している。ゼミナールでは経営学を学びながら、地域の課題解決に向けたグループ研究を行っている。